

第1号議案 令和6年度「収入支出決算」

第2号議案 令和6年度「事業報告」

1. 健康保険組合を取り巻く状況

◇令和7年度予算編成の概要 ～健康保険組合連合会公表
令和7年度予算(1,372組合)では経常収支は、**3,782億円の赤字、約8割の組合が赤字予算の見通し**
保険料収入は、被保険者数の伸びと賃金引き上げ効果により
対前年比較で**+4.3%(+3,829億円)**増加しており
支出の増加**+1.1%(+1,078億円)**を上回っているため
赤字幅は縮小するものの**赤字予算が継続する厳しい状況**

◇「ポスト2025」健康保険組合の提言

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年、以降も2040年までは人口減少とともに高齢化、現役世代の負担増が進み、全世代で支え合う制度への改革がなければ、国民皆保険制度を継続できなくなる危機感の中
健康保険組合の加入者（国民）に国民皆保険制度の恩恵、その危機的状況の認識の共有、あわせて、ステークホルダー(国、医療提供者、事業主)への
お願いを明らかにし、健康保険組合の取り組みとしてまとめたもの

第1号議案 令和6年度「収入支出決算」

第2号議案 令和6年度「事業報告」

2. 令和6年度基礎数値

		R 6 実績	R 5 実績	R 6 予算	R 7 予算
保険料率		9.3%	9.3%	9.3%	9.3%
(事業主)		(5.475%)	(5.475%)	(5.475%)	(5.475%)
(被保険者)		(3.825%)	(3.825%)	(3.825%)	(3.825%)
被保険者数(平均)		8,151 人	8,174 人	8,139 人	8,167 人
報酬月額/人(平均)		395 千円	392 千円	411 千円	414 千円
総標準賞与額(年間)		13,161 百万円	12,652 百万円	13,343 百万円	13,750 百万円
給 付 費	法定給付	2,350 百万円	2,226 百万円	2,383 百万円	2,545 百万円
	付加給付	45 百万円	43 百万円	47 百万円	56 百万円
	(被保険者一人当たり)	(294千円)	(278千円)	(299千円)	
納 付 金	前期高齢者	792 百万円	969 百万円	794 百万円	926 百万円
	後期高齢者	1,164 百万円	1,154 百万円	1,170 百万円	1,150 百万円
保 健 事 業	保健事業	71 百万円	61 百万円	107 百万円	107 百万円
	保養所等	2 百万円	29 百万円	7 百万円	7 百万円
(参考)					
加入者数		15,771 人	16,034 人	16,025 人	15,627 人
(被保険者+被扶養者)					

＜基礎数値＞

経済環境の緩やかな回復傾向の中、事業主の好業績が反映され、当組合被保険者は減少傾向が続くが、報酬額は微増となっている

- ・ 保険料率 : **9.3%を継続**
- ・ 被保険者数 : **微減傾向が続く**
- ・ 平均標準報酬月額 : **微増が続く**
- ・ 総標準賞与額 (年間) : **増加** (ほぼ予算通り)
- ・ 給付費 : 被保険者及び被扶養者の**薬剤費増加傾向**継続
- ・ 前期高齢者納付金 : 予算通り減少
- ・ 後期高齢者支援金 : 予算通り増加
- ・ 保健事業費 : 各種健診・検査受診者減少に伴い減少
- ・ 保養所等 : 保養所売却、グラウンド閉鎖に伴い費用減
- ・ 加入者数 : **被保険者、被扶養者ともに減少**
(扶養率も低下)

令和6年度は事業主の好業績により、報酬額は賞与を中心に増加となったが、加入者は減少傾向が続く。

※特に被扶養者数は数年前から減少傾向、扶養率も1.0を割り込む

第1号議案 令和6年度「収入支出決算」

第2号議案 令和6年度「事業報告」

3.令和6年度決算(24.4.1～25.3.31)：一般勘定

(単位：百万円)		R6年 実績	R5年 実績	前年 実績差	R6年 予算	予算差	(参考) R7年 予算
経常	保険料収入	4,713	4,661	+52	4,876	△163	4,865
	その他	6	9	△3	3	+3	4
	収入計	4,719	4,670	+49	4,879	△160	4,869
	給付費	2,391	2,269	△122	2,434	+43	2,601
	高齢者納付金	1,956	2,123	+167	1,964	+8	2,076
	保健事業 他	132	148	+16	189	+57	185
	支出計	4,479	4,540	+61	4,587	+108	4,862
	経常収支計	240	130	+110	292	△52	7
経常外収支		110	191	△81	8	+102	55
予備費		0	0		300	+300	62
収支計（実質）		351	321	+29	0	+351	0
別途積立金取崩し		0	0		0		0
収支決算残金		351	321		0		0
資産 残 高	準備金残高	1,026	1,038	△12	1,038	+12	1,038
	別途積立金残高	2,286	1,936	+350	1,866	△420	2,224
	その他（土地・建物等）	8	8	0	8	+0	7
	合計	3,320	2,982	+338	2,912	△408	3,269

①経常収支は240百万円の黒字（3期連続黒字）

- ・ R4年度の保険料率の引上げによる増収効果もあり経常収支は黒字となった。
- ・ 給付費全体では対前年5%アップ△122百万円療養給付費△59百万円、薬剤費が10%以上のアップ（△43百万円）、傷病手当金は制度変更などもあり2年連続で大幅増△40百万円となり給付費全体で大幅な増加となった。
- ・ 保険料収入の増加や高齢者納付金が減少したこと等で経常収支は前年以上の黒字となった

②総収支は351百万円の黒字（対前年+29百万円）

- ・ 経常外収支ではグラウンド売却手付金+12百万円や国の補助金収入もあり+110百万円の収益となった。

③351百万円を残金処分として別途積立金に繰入

④資産残高は3,320百万円（対前年+338百万円）

- ・ 主に経常収支の黒字により資産残高は増加。グラウンド売却は、経常外収入増と準備金（土地）の売却減で相殺。

第1号議案 令和6年度「収入支出決算」

第2号議案 令和6年度「事業報告」

3. 令和6年度決算(24.4.1～25.3.31)：介護勘定

(単位百万円)		R6年 実績	R5年 実績	R6年 予算	R7年 予算
保険料率		1.75%	1.75%	1.75%	1.75%
収入	介護保険収入	556.2	538.4	565.0	570.6
	その他収入	10.0	0.0	0.0	0.0
	計	566.2	538.4	565.0	570.6
支出	介護納付金	564.5	559.0	564.5	564.5
	その他支出		0.1	0.3	0.3
	計	564.5	559.1	564.8	564.8
収支		1.7	▲ 20.7	0.2	5.8
予備費(△)		0.0	0.0	△5.0	△5.8
準備金取崩し		10.0	25.0	4.8	0.0
差引		-8.3	4.3	0.0	0.0
準備金(介護)		76.3	84.5	79.7	75.0

<介護勘定>

【適用】

- ①2号被保険者（本人）：対前年102%の4,531名
- ②前年と比較して平均報酬月額 +0.2%、
総賞与額+6.5%とともに増加傾向
- ③被保険者一人当たり納付金額はほぼ昨年同様

【収支】

- ①被保険者増加、平均報酬増額により保険料収入は増加。
- ②介護納付金は対前年+5.5百万円となり
実質収支は△8百万円。
- ③実質収支マイナスに対して準備金の取崩しにより準備金残高は76百万円へ減少。
- ④R7年は保険料収入の増により収支はほぼ均衡する予算。

<介護保険>

- ・40歳以上の国民は全員加入義務があり、「介護保険料」として国に納付。(健保が従業員分を代行して納付)
- ・国は要介護の人たちへの「介護費用」の一部へ充当。

第1号議案 令和6年度「収入支出決算」

第2号議案 令和6年度「事業報告」

4. 令和6年度事業報告

<保健事業の目的>

加入者の健康維持・増進を目的としており「健康指導」、
「健康維持増進」を促進するための費用。

将来の「医療費（保険給付金）」の増加を抑制するための支出
各種情報発信、啓蒙活動を含めて、積極的に推進する。
会社と協業（コラボヘルス）での各種活動も継続取り組み。

<令和6年度の実績>

支出実績73.1百万円(対前年△17.1百万円 対予算△41.3百万円)

(1) 健診・保健指導 33.4百万円(対予算△16百万円)

特定健診：加入者の扶養者に対する特定健診

特定保健指導：メタボ対象者（予備群含む）に対する保健指導

(2) 保健指導宣伝活動 11.6百万円(対予算△7百万円)

機関誌発行・医療費通知・ICT利用による各種健康イベント
実施（ポイント付与を含むP e p U pの活用）

(3) 疾病予防活動 26.1百万円(対予算△13百万円)

加入者の定期健康診断の費用負担

会社での歯科検診実施

人間ドックへの費用補助

（節目ドック、定年記念ドック、配偶者向）

がん検診への費用補助

(4) 施設管理・運営 2百万円(対予算△5百万円)

グラウンドの運営、維持管理

<令和6年の振り返り>

主に以下5項目に注力したが未達部分が多く、
費用の有効活用ができていない

- ・被扶養者の特定健診受診率向上
- ・生活習慣病の対策強化
- ・がん検診支援強化
- ・人間ドックの受診拡大 ～（健保）負担額倍増
- ・禁煙活動の支援

<令和7年の取組強化項目>

保健事業予算 114.4百万円 (対前年 156%)

R6年施策の注力項目を継続強化していく、
特に各種情報発信及び啓蒙活動に注力し実績向上
を目指す。

第3号議案 令和6年度「決算残金処分」の件
第4号議案 令和6年度「財産目録」の件

令和6年度残金処分(案)

<一般勘定>

収支決算残金処分 350,655,302円

上記決算残金を、次の通り処分する。

法定準備金	0円
別途積立金	350,490,953円
繰越金	0円
財政調整事業繰越金	164,349円

<介護勘定>

収支決算残金処分 1,763,770円

上記決算残金を、次の通り処分する。

法定準備金	1,763,770円
繰越金	0円

令和6年度財産目録

<一般勘定>

(単位：百万円)

	R 6 年度	R 5 年度	差 異
(土地・建物)	(450)	(462)	△12
(定期預金)	(546)	(551)	△5
(他)	(30)	(25)	5
法定準備金	1,026	1,038	△12
(定期預金)	(2,286)	(1,936)	+350
(他)	(0)	(0)	0
別途積立金	2,286	1,936	+350
(土地)	(0)	(0)	0
(建物)	(7)	(7)	0
(什器・他)	(0)	(1)	△1
その他	7	8	△1
合 計	3,320	2,982	+338

*グラウンド売却の手付金分計上

<介護勘定>

法定準備金	76	84	△8
(普通預金)	(76)	(84)	△8